

# ようこそ

第 13 号

浄土真宗本願寺派  
円光寺

〒870-0108  
大分市三佐3-15-18  
TEL097-527-6916  
FAX097-527-6949

みんなで掲示板を  
つくりました



(上) 持ち場持ち場で  
作業のようす  
(6月22日)



(左) 出来上がった  
掲示板に囲まれて  
“おつかれさまでした”  
(7月6日)

## 仏さまのことばを届けます

再び、掲示伝道を始めます。

昭和52年、本堂新築を機縁に私たちのお寺に仏教壮年会が誕生しました。その主な活動に、掲示伝道があり、毎月法語を書いて、地域の方々に仏さまのお心をお届けしました。

しばらく続きましたが、会員も入れ変わり、掲示板の管理も疎かになり、風雨にさらされて朽ちゆきていきました。続けることの難しさを思い知らされます。大いなる反省です。

31年経って、壮年会の会員もすっかり新旧交代しました。ちょうど、お父さんから息子に一代、世代交代したことです。「何とか掲示伝道を復活したい」とメンバーから声があがりました。しかし、前回の反省からなかなか踏み出せませんでした。壮年会だけの活動ではできないことに気づき、拡大総代会で提案しました。

まず掲示板づくりから始めました。壮年会のメンバーを中心に、腕におぼえがある門徒さんに声をかけました。一人でも多くの方に関わってもらおうと、日曜日に作業することにしました。梅雨の真っ只中で、天気予報を気にしながら、何度も何度も予定を変更しての作業でしたが、皆さんの協力で立派な掲示板が18本できました。

仏さまのご縁をいただく門徒衆が、一つの目標に向かって、それぞれができることを持ち寄り、お手伝いをさせていただきます。暑い中で、汗びっしょりになりながらも、声を掛け合い和気あいあいに楽しい時間のようでもありました。

私たちが日暮らする地域の町角に、これから掲示板を設置し、ずっと掲示活動を続けていきます。皆さんのご協力をよろしくお願い致します。

# おさがりをいただく

「いただきます」して下さるか

子どもの頃、隣の家からの頂き物を「仏さまにあげちよいで」と言われ、お仏壇にお供えしてから家族みんなでいただいたものでした。

## お仏飯、あげてますか？

ちょっと以前の私たちの麗しい生活習慣に、一日の始まり、朝ご飯を炊いた、その一番を仏さまにお供えしていました。お灯明をつけ、お線香をたき、仏さまにおまいりしたものです。今は、家族そろって食事をするとということが少なくなりまして。パン食でご飯を炊かないお家もあります。またギリギリまで眠って、朝食抜きで職場に学校に急ぐ人が多いこともよく聞きます。

さてお供えしたお仏飯は、そのままあげつ放しということではありませぬ。そうそう後でさげて、いただきます。

## 仏さまからいただく

あげたお仏飯を、そのままさげていただく。私があげて、私

がさげて、私がいただく。だったらそのまま私の口にいただけばいいことなのですが、仏さまにお供えすることの大きな意味があります。

私のお金で買ったお米だから、私がつくった野菜だから、私が釣ってきた魚だからと、「私が、私」ということに力が入って、だから、私は「いただきます」と言いません、という人までできてきます。私がどうこうではなくて、すべて仏さまからいただくんです。仏さまからおさがりをいただくんです。

お米が主食の日本では、お米は食の代表です。お仏飯は、この私のいのちを支えてくださる、いのちの糧の象徴です。



特製の額ぶちにいれて本堂にかけています

## 『浄土真宗の教章』が

制定されました。

このたび「浄土真宗の教章」(私の歩む道)が定められ、私たち浄土真宗門徒が心に銘ずべき教えの肝要が示されました。親鸞聖人のおこころを深く受けとめ、いよいよお念仏の生活をさせていただきますように。



お花見の会 (3月29日)

私たちは毎日欠かさずことなく、他のいのちをいただいで、生きています。魚さんも、牛さん豚さん鳥さんも、みんな、人間に食べられるために生まれてきたわけではありません。みんなにも家族があり、私たちと同じ仏さまの大きなおはたらきの中にあるいのちです。だからこそ、せめて仏さまにお礼をしてから、食前には「いただきます」食後には「ごちうさま」と、私のいのちになつてくださる尊いのちに感謝して、食事をさせていただきますように。

## 世々生々

「世の中が嫌になった。誰でもよかった。人を殺したかった」と。若者による無差別殺傷事件が、茨城で岡山で、そして東京の秋葉原で起きた。動機なき犯行という。なぜ、どうして。◆自殺者が10年連続で3万人を超えた。「世の中が嫌になった」。生きていくことに疲れた」と。なぜ、どうして。◆最近の若者はすぐ「キレル」という。果たして若者ばかりか。まさに、私たちの社会そのものがさびれている。共同体社会が崩壊し、人間関係が希薄になつたと言われる。お金さえあれば一人でも生活できる時代、「私が、私」と自己中心に生きるお互いが、人と人とのつながりをブツンブツンときつていく。◆仏さまのご縁は、人と人をつないでくださる。「一緒にお寺にお参りしようえ」と、声をかけ合う友がいる。仏さまに向き合うお互いが、そこにいる。それぞれ生活ぶりの違う者同士が一つ処に集い、出合い、つながっていく。◆「一人じゃないよ。私がいるよ。大丈夫だよ」と、阿弥陀さまのおよび声に励まされ、支えられ、生かされて、この私が生きていける。あなたがいるから生きていける。

お朝事「法話」より

49日間の中陰

昨日、坊守の父の三七日にお参りしました。49日の中陰の間、七日七日のお勤めは、先にお浄土に往かれた方が、後に残った私たちに仏法を聞いてくれよと、まさに命がけで開いてくださった尊い仏さまのご縁です。

愛するものと別れる、大きな悲しみは、大切な方が今までの日常生活からいなくなるということ、その現実をこの49日間を通して受け止めていくことも、中陰の大きな意味です。

七日七日のご縁には、平素は疎遠の方も「寂しくなりました」とお参りしてくれそうです。そういう中に、私たちは日頃はなかなか気づかないけれども、多くの方々に支えられてあるということとを思わせていただきます。私一人じゃなかった、大きないのちのつながりの中に生かされていたんだと元気をいただきます。49日間の中陰を終えて、また新たな日常が始まります。大切な方はいなくなつたけれども、今は仏さまと成つて、この目には見えないけれども、これからこの私をずっと支えていつて

くださいます。そして、私と共に生きてくださる方がたくさんいらつしやいます。悲しみのご縁ですが、仏さまのみ教えを聞かせていただき、一日一日を大切に、お浄土へお浄土へと歩みをはこばせていただくことの有り難さをよろこばせていただくことです。

(2月23日)



山門特設花御堂の前を登校する子どもたち (4月8日)

大丈夫です!

ちよつと目の具合が悪くて病院に行きました。診察を待つている間、前の方の診察の様子が聞こえてきます。そして私の番がきました。問診そして診察の後、先生は「結論から申しますと、病気ではありません。これ

は老化現象です」とおつしやいました。続けて「老化現象ですから、治すことはできません。薬もありません」と。私の前に診察された方もほぼ同じようなお話でした。

ひとつ安心しました。「病気ではありません」ということに安心しました。だつて目の具合が悪く、何か病気ではないかと心配で病院に來たわけですから。それがお医者さんから「病気ではありません」と言われて、一安心です。その後「老化現象です」と言われ、自分ではまだまだ若いのに、受け入れ難いところでしたが、先生は「私もそうなんです。あなたと同じぐらいの年齢で、実はあなたと同じような症状が私にもありますよ」と言ってくれました。またひとつ安心できました。

お釈迦さまのお説法を思います。まさに思い通りにならない、この苦悩の人生を生きる私たちに、お釈迦さまは「大丈夫だよ。あなたが不安に思っていることはよくわかりますよ。何が不安かつて、この身が老いていくね。病んでいくね。そして死んでいくね。実はこの私もそうなんだよ。でも大丈夫だよ。どんな状況にあつても、いつでもこの私を独りぼつちにしないと、私に寄り添い、必ず救うとはたらき通しの阿弥陀さまという仏さまがいらつしやるんだよ。そのこと一つ聞かせていただき、お念仏を申して、この苦悩の人生を一緒に生きていこうね」と、今ここに説法です。

(6月9日)

ご案内

- ◆常例法座  
7月16日(水) 10:00~11:30
- ◆初盆会・盆おどり大会  
8月12日(火) 19:00~21:00
- ◆全戦没者追悼法要  
(平和を願う鐘つき)  
8月15日(金) 11:00~12:00
- ◆秋彼岸会  
9月22日(月) 11:00~14:00  
同 19:30~21:00  
9月23日(火) 13:30~15:00

“月に一度は お寺参りしましょう”

元旦会

12月31日の除夜会に続き、元旦会のお勤めをして、皆さん一緒に新年を迎えました。



住職より新年のあいさつです (1月1日)

「月に一度は寺参り」  
スタンプリ



常朝事同行の(左から)清松勝子さん、岸田シズエさん、外山功さん、藤澤廣さん

1月16日の常例法座のご縁に昨年一年間よくお参りされた方に記念品を贈りました。

新一年生を祝う会



おばあちゃん、お母さんと一緒に野上るりさん

4月7日の花まつりのご縁にこの春小学校に入学する新一年生のお祝いをしました。

初参式

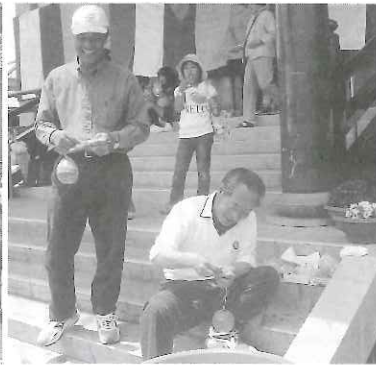


(左から) 岩崎けんしんさん、岩崎かりなさん (5月25日)

にぎやかに  
降誕会バザー



(左から) かき氷、わたがし、やきそば



ヨーヨー



フリーマーケット

境内でのバザーのようす (5月25日)

お花がいっぱいのお光寺です



花まつりのご縁に、プランターのお花を持ち寄りました(百華のつどい、4月6日)

あしがき

今年4年に一度のオリンピッククイヤーで、8月に北京五輪が開催される。そして大分県では9月、10月に国体が開かれる。日本全国から集う選手団、関係者をあたたかく歓迎しようと、ポスターやステッカーに、大会マスコットの「めじろん」と共に「ようこそ」の文字が大きくおどる。  
「ようこそ、大分へ」そして「ようこそ、円光寺へ」。あなたのお越しを楽しみにお待ちしております。